

【審査基準】

審 査 項 目		配 点
デザイン コンセプト	制服作成のコンセプトが制服変更の趣旨に沿うものであるか。	35 点
	ジャケットはスカートにもスラックスにも合うデザインであるか。	
	多様性に配慮された仕様であるか。	
	標準型学生服とも調和し、統一感を感じさせるデザインであるか。	
	藍色を基調とした色・デザインであるか。	
	校章が着用できる工夫がなされているか。	
	リボンとネクタイのどちらかを選択とする。	
	女子スカートの変形防止をはじめ、着崩しを防ぐ工夫が盛り込まれている。	
機能性	ストレッチ機能や防汚効果のある撥水機能を備えているか。	35 点
	3年間着用できる耐久性を有するものであるか。	
	自宅で洗濯が可能である等、手入れがしやすいものであるか。	
	型崩れや着崩れがおきにくいものか。	
	夏服着用時に下着が透けないような対策がなされているか。	
	生徒の体型に合うサイズを用意できるか。	
	寒暖差に対応できる対策がなされているか。	
経済性	現行の制服と価格設定になっているか。	10 点
利便性	新入生の採寸や注文受付、販売について、学校の指定する日時や方法に対応できるか。また、在学中の修繕などに、販売店と連携して適切かつ迅速な対応ができるか。	10 点
	販売店の所在地、店舗数等、購入に際しての利便性が確保されているか。	
	修繕が生じた場合のアフターサービスの体制がとられているか。	
協力関係 安定性	限られた期間内に制服を供給する能力・体制がとられているか。	10 点
	契約期間中、制服の供給を継続できる安定した経営的基盤を有しているか。	
	本校からの要請や要望に速やかに対応できる組織体制を有しているか。	
合 計		100